



束縛看護

—カラダに残る淫らな記憶—

—之瀬 紇

はじまりは
十日前だった

……
いた……っ

ズキッ

ズキッ

痛……っ

……頭が……

……な

奈々

私
……どうしたの……？

……ここは……？

奈々!!

お目覚めですか

柊奈々さん

あ

っ

え……？

お医者様……？

ご気分は？
どこか痛むところは
ありませんか？

あれだけの事故に
遭って

こんな軽症で
生まれたのは奇跡ですよ

事故……？

……

私……？

奈々！

起きれるのなら
さっさと服を着ろ

忙しいのにこんなことで
いつまでも時間を割けるか

帰るぞ

.....



こうがみ
鴻上さんまだ
脳波の検査が

かまわん

療養なら
うちでも
できる

奈々

.....ない.....



.....わから

ない.....

.....私は.....
だれ.....?

.....何も.....

思い出せない



治るん
だろうな！

検査結果を
分析して
みないと何とも

早々に
奈々の記憶を
戻すんだ！
金はいくら
かかってもいい！！



担当医の
八乙女やにおとめです

外因的ショックで
記憶障害を
起こしているものと
思われますが



最善を
つくします

はい…



ウェディング
ドレスの
試着の帰り

車同士の
接触事故に
巻き込まれて
病院に運ばれた

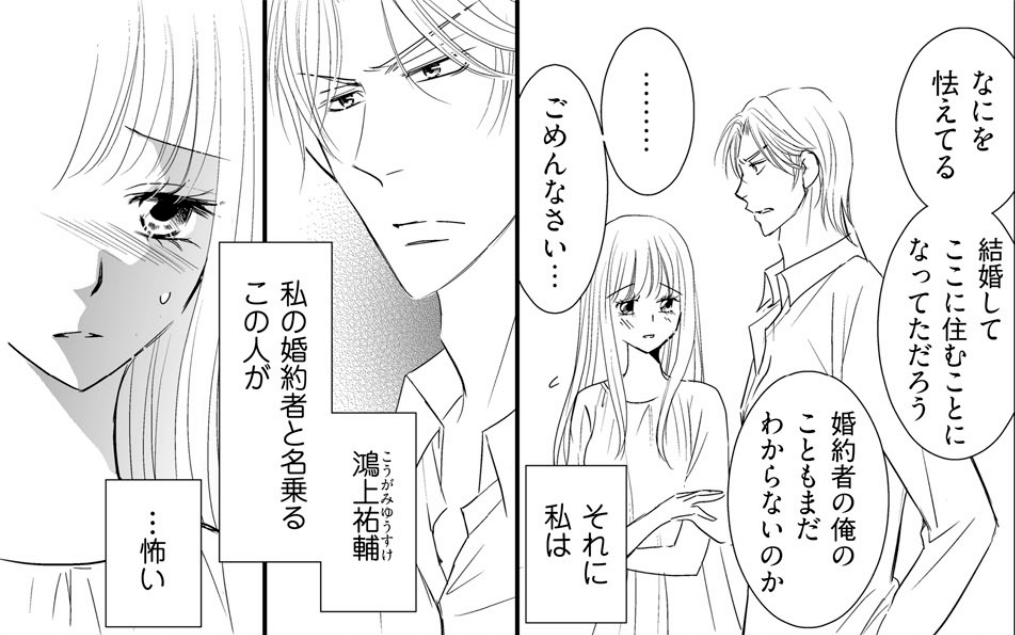


奈々

それに

びく

そう聞かされても
とても自分の
ことのように
思えない



なにを
怯えてる

結婚して
ここに住むことに
なつてただろう

婚約者の俺の
こともまだ
わからないのか

……

ごめんなさい……

それに
私は

こうがみのすけ
鴻上 祐輔

私の婚約者と名乗る
この人が

……怖い



若くしていくつもの会社を
経営している
やり手の実業家

……まあいい

何か
思い出したら
すぐ俺に言え

どんな
小さな
ことでもだ

……はい……

いつも命令口調で
一方的な彼からは

愛情を
感じられない



どうして私は

こんな人と
結婚の約束を
したんだろう

でも

家族はすでに
他界していると
きいた

だとすると
私のことを
知っているのは
鴻上さんだけ
だもの

……

あ
……?

記憶の手がかりが
つかめないかと
時々街を歩いてるけど

……いやだ

迷っちゃった
……?

どうしよう

ドギン

こんな
時間に
なつてたなんて

ドギン

早く
帰らないと
鴻上さんに
……

……!

あ

バラ

赤い

赤い

……な

